

レベル3.5飛行 事例集

令和7年3月
国土交通省航空局

1. ユースケース

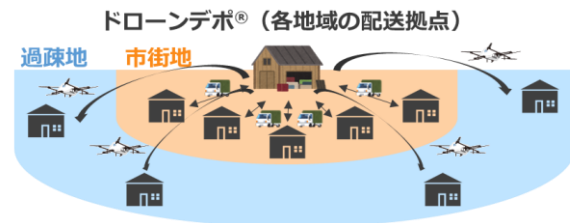
● 荷物配送

(地域内の荷物 (主に宅配便) を集約し、共同配送として、
配送密度の高い市街地をトラックにより、
配送密度の低い過疎地をドローンによりそれぞれ配送)

動画リンク：[ドローン配送の流れ \(株式会社NEXT DELIVERY\)](#)



新スマート物流「SkyHub®」
既存のトラック配送にドローン配送を組み合わせることで
地域物流の非効率を解決



2. 飛行エリア

- 飛行エリア：山梨県小菅村、北海道上士幌町
福井県敦賀市、和歌山県日高川町
静岡県川根本町、北海道新十津川町他
- 飛行頻度：レベル3.5飛行により日常的に物資輸送を実施



3. レベル3.5飛行にあたってのアドバイスや留意事項 (運航者からのコメント)

- レベル3.5飛行にあたり、以下の調査・調整等をしておくことが円滑な運航を実施する上で重要
 - 同一区域・高度で飛行し得る**有人機**の存在
 - 使用機体の**重心安定による姿勢制御の容易さ** (自動操縦の継続)
 - **飛行ルート**の安全性 (機体負荷、電波状況、不時着・墜落時の影響等)
 - **ユースケースに応じた独自マニュアルの整備** (緊急事態・事故発生時の体制を含む)
 - 荷物の**自動置き配等による操作介入の排除** (物資輸送)
 - 離着陸地点の安全確保 (**着陸精度、着陸要件、第三者の立入監視**)